



# 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル: CASBEE大阪みらい(新築) | 使用評価ソフト: 「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)天保山II 新築工事		
建設地	港区築港2丁目		
建物用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
竣工年	2027年12月 予定		
構造/階数	RC造 / 15		
敷地面積	1216.10 m <sup>2</sup>		
建築面積	362.15 m <sup>2</sup>		
延床面積	4049.12 m <sup>2</sup>		

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**B-** BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	100%
③上記+②以外のオンサイト手法	100%
④上記+オフサイト手法	100%

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 緑地の配置を考慮し、周辺環境に配慮した計画をしている。	<b>その他</b> 特になし。	
<b>Q1 室内環境</b> 下地材 仕上材 建具は全て 無垢材又低ホルムアルデヒド F☆☆☆☆等級レベルとして室内の環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 住居の天井高2.5m確保し、快適性に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 道路側や西側及び東側に緑地を設け、周囲に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> 特になし。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 特になし。	<b>LR3 敷地外環境</b> 広告物照明の設置等なく、近隣への配慮がされている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。  
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.7

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	1.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		2.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	2.0
配慮事項		

## 省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

- ※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
- ※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
- ※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令(以下、「省令」という)」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

外皮性能	住宅部分(品確法等級) <b>等級4</b> (相当)	非住宅部分[BPI][BPI <sub>m</sub> ] -
一次エネルギー消費量	住宅部分[BEI] <b>1.00</b>	非住宅部分[BEI][BEI <sub>m</sub> ] -